

どんな未来を

託しますか？



市 民と市長との対話集会でも、話題にあがる**人口減少**は、子育てや事業承継、地域活動など、さまざまな課題とつながっています。

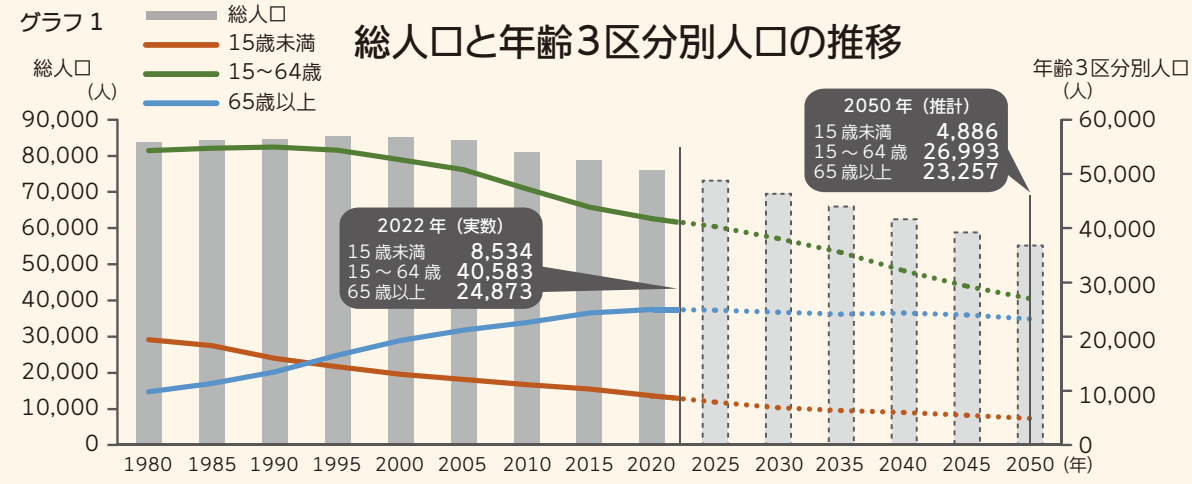
市では、2020年の国勢調査を基に「中津川市人口ビジョン」を令和6年3月に改訂しました。

本ビジョンに基づき、将来の方向性を施策へと反映し、持続可能なまちづくりを進めます。

問 政策推進課（☎内線331）



詳しくは二次元コードから



加速する少子高齢化 現状

中津川市の総人口は1995年をピークに減少傾向が続いています。特に、年齢3区分別人口（グラフ1）では、15歳未満および15～64歳の人口が減少傾向にある一方、65歳以上は増加から横ばいの傾向にあります。国立社会保障・人口問題研究所による2020年の国勢調査を基にした2050年までの年齢別の将来人口の推計では、高齢者の比率が一層高くなっていくことがわかります。

本市の人口増減数（表1）をみると、出生数が死亡数を下回る「自然減」、転入数が転出数を下回る「社会減」の状況にあります。

自然増減と社会増減の両方が人口減となり、2006年以降は430～950人程度の減少が続いています。

表1

中津川市	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
自然増減数	-500	-494	-546	-629	-674
社会増減数	-208	-93	-320	-319	-217
人口増減数	-708	-587	-866	-948	-891

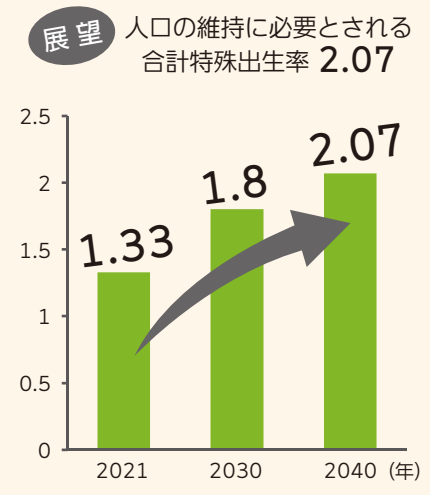
資料：岐阜県「人口動態調査」

単位：人

市が目指すべき 人口の将来展望

①**合計特殊出生率の上昇**

未婚化・晩婚化を抑制して、結婚から妊娠・出産、子育てへの切れ目のない支援を行うほか、地域全体での子育て支援に取り組みます。



▲婚活情報の発信や結婚相談員による結婚相談所の開設などを通じ、しあわせな結婚生活を応援！詳しくは5ページをご覧ください。

②**若年層の流出抑制と転入促進**

若年層の就業ニーズを踏まえた新たな分野の産業の誘致や既存産業の活性化に取り組み、転出を抑制。また、Uターン施策をはじめ、子育てがしやすい生活環境を整備することで転入を促進します。



明るい未来を次の世代に託すために

現在の人口構成や社会状況を踏まえると、現在の人口規模を維持することは極めて困難です。将来にわたり持続可能なまちの実現に向け、出生率を上昇させ人口減少を抑制するため、子育て支援や、市内への定住・移住の推進に取り組みます。

出生数と合計特殊出生率※の低下



出生数

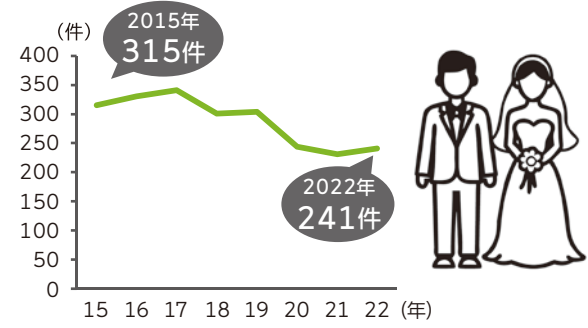
2015年	633人
2022年	378人

合計特殊出生率

2015年	1.74
2021年	1.33

※1人の女性が生涯に産むことが見込まれる子どもの数

婚姻数の減少



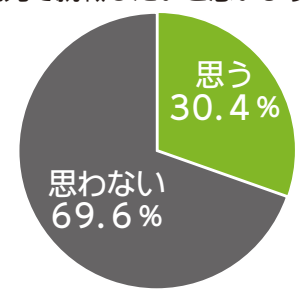
未婚率は概ね全国平均を下回っているものの、各年代で上昇傾向にある



自然減

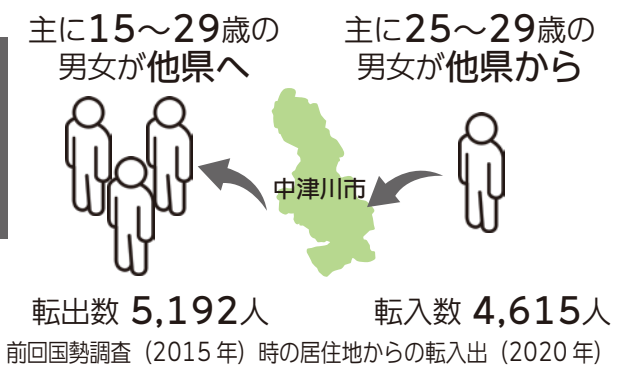
若者の就業に対する意識と希望

高校2年生に聞きました
地元で就職したいと思いますか？



資料：中津川市「令和5年度高校生の就職に関する意識調査」

転出数が転入数を上回る転出超過



社会減